

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	128	1年	前期	看護学科	必修	生命科学 Life Science	15	1
担当教員								
松村 美紀								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
人間の健康を考える上で重要な生命現象に関して、その基本となる遺伝子の機能を中心に、初歩的な知識から先端医療につながる内容を理解する。また、生命とはなにか、遺伝子とはなにか、遺伝情報とはなにか、遺伝情報はどのように働くか、ヒトゲノム解析の意義と最先端医療への応用など、遺伝子、ゲノムを中心に生命科学の基礎知識を身につけることにより、それに関わる医療上の問題点を考察する能力を身につける。								
到達目標（授業目標）								
① 生命とはどのようなモノであるのか、生命はどのように設計されているのか説明できるようになる。								
② 細胞が持つ遺伝情報がどのようにその機能を発揮するのか、説明できるようになる。								
③ 環境と生命はどのようにかわるのか、ヒトと病原体はどのような関係なのか議論できるようになる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	生命はどのように設計されているのかを学ぶため、生命の基本単位である細胞の構造と機能、細胞を作っている材料、タンパク質、糖、脂質、核酸の概略について講義する。							
2回	ゲノムとは何か、ゲノム情報はどのように発現するのかを知るため、遺伝子情報の本体としてのDNAの構造、クロマチン、染色体の構造などについて講義する。また様々な生物の遺伝子を比較し、哺乳動物の遺伝子の構造について講義する。							



備考						